

るなばあくに新規遊戯施設「立体迷路」を導入します

1 内容のあらまし

前橋市中央児童遊園（以下、るなばあく）[指定管理者：株式会社オリエンタル群馬]は、令和元年11月1日に開園65周年を迎えました。また、令和2年4月からの次期指定管理者公募では、「るなばあく新時代へ」というコンセプトのもと、前橋市に本社を置く企業で構成された共同企業体の「Made in MAEBASHI コンソーシアム」(MMC) [代表企業：株式会社オリエンタル群馬、構成企業：泉野建設株式会社、コーエィ株式会社、株式会社ソウワディライト]が指定されました。公募時に提案のあったMMC代表企業の自主事業として、新規遊戯施設「立体迷路」を3月下旬から営業します。立体迷路の基礎・擁壁の施工費は、MMC構成企業である泉野建設株式会社が負担します。

2 経緯及び目的

現在るなばあくは、①老朽化した施設の改修・整備②少子化を見据えた新たな事業によるターゲット層の拡大が求められています。そこで、施設の魅力や価値を向上させ、収益の安定化を図るために新規施設の設置を検討してきたところ、狭い敷地に新しく遊器具を導入するには、立体的な整備が不可欠でした。また、るなばあくの設置目的は「児童に健全なる遊びを与えその健康の増進を図ること」であり、様々なからくりや障害を乗り越えることが、子どもの知育や体育につながり、児童の健康の増進が期待できると考え、立体迷路の導入が最適であると考えました。

3 立体迷路仕様（大きさ及びコース）

立体迷路のサイズは約12m×10mで、高さは13mを想定しています。コースは難易度が異なる全3コース（知育コース、体力コース、記憶力コース）で構成。児童に限らず、大人も利用できます。所要時間は、各コースおよそ20分です。

- (1) 【全国初】未就園児も利用できる「知育コース」
- (2) 多くの障害物やアスレチックアイテムの中を進む「体力コース」
- (3) 自分の記憶を頼りに難易度の高いからくりの中を進む「記憶力コース」

※コースの名称は変更する可能性があります。

4 利用料金

一人につき1コース200円（税込）

※3コースはそれぞれ別に料金がかかります。

※知育コースを利用する3歳以下の未就学児の引率者は無料です。

5 工事期間及び営業開始日

工事期間：令和2年1月14日（火）～3月6日（金）予定

営業開始日：令和2年3月20日（金）

担 当 公園管理事務所維持管理係

電 話 027-225-2116